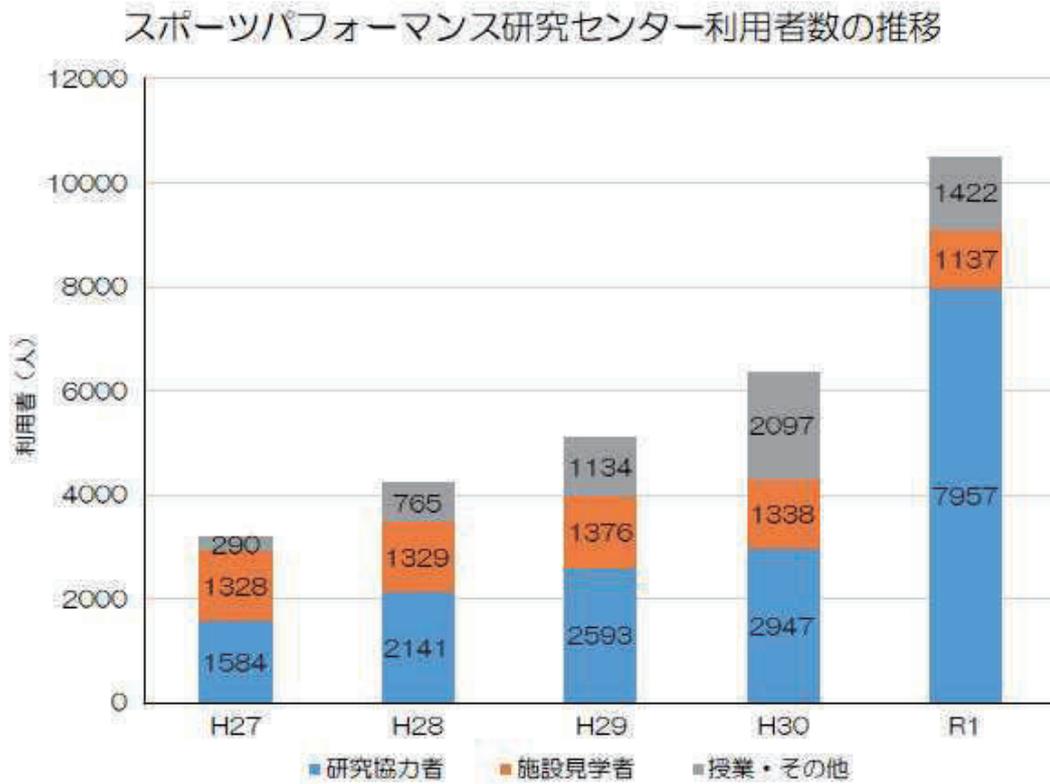


I. 令和元年度の実績

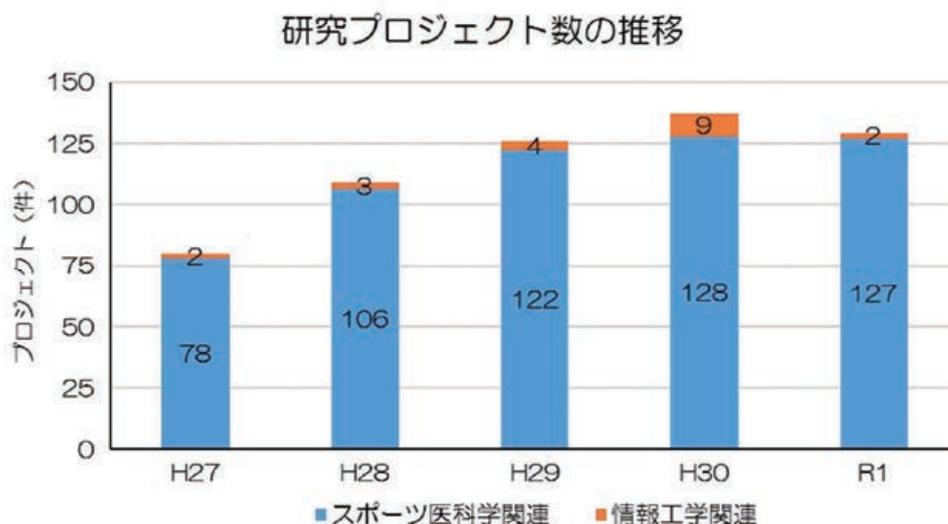
1. 利用者数



スポーツパフォーマンス研究センター利用者の内訳（人）				
	研究協力者	施設見学者	授業・その他	合計
H27	1584	1328	290	3202
H28	2141	1329	765	4235
H29	2593	1376	1134	5103
H30	2947	1338	2097	6382
R1	7957	1137	1422	10516

スポーツパフォーマンス研究センターの利用者数を、利用目的ごとに区分して示しました。令和元年度は、研究に関わる研究協力者数が大幅に増加し、全体の利用者が1万人を超えました。

2. 研究プロジェクト数

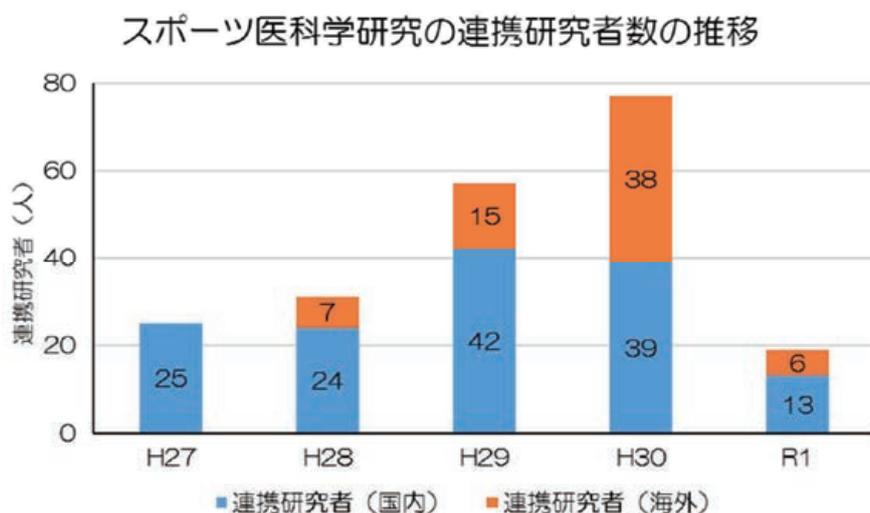


研究プロジェクトの内訳 (件)			
	スポーツ医科学関連	情報工学関連	合計
H27	78	2	80
H28	106	3	109
H29	122	4	126
H30	128	9	137
R1	127	2	129

研究プロジェクトは、中期計画で示されている、スポーツ医科学関連と情報工学関連に区分して示しました。令和元年度の研究プロジェクト数は129件であり、平成30年度から若干減少しました。

3. 連携研究者数

1) スポーツ医科学関連



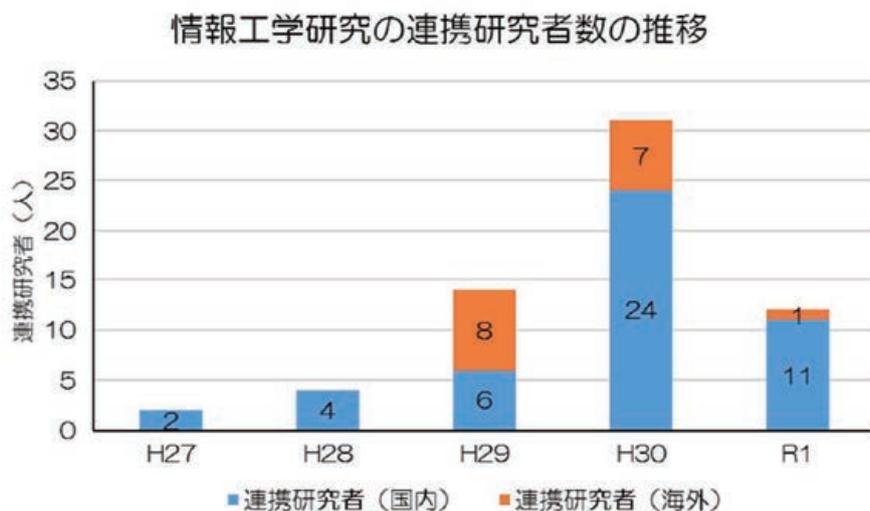
スポーツ医科学研究の連携研究者の内訳（人）			
	連携研究者（国内）	連携研究者（海外）	合計
H27	25	0	25
H28	24	7	31
H29	42	15	57
H30	39	38	77
R1	13	6	19

スポーツ医科学関連の研究における連携研究者数を示しました。令和元年度は、国内、海外ともに連携研究者数が減少しました。

陸上競技に関して、日本女子体育大学、大阪体育大学、大阪経済大学、順天堂大学、Nord University、King Juan Carlos University と連携して研究が行われました。

その他にも、札幌国際大学、徳山大学、関西大学、国立スポーツ科学センター、Sports Authority of Thailand と連携してテニスや野球の研究が行われました。

2) 情報工学関連

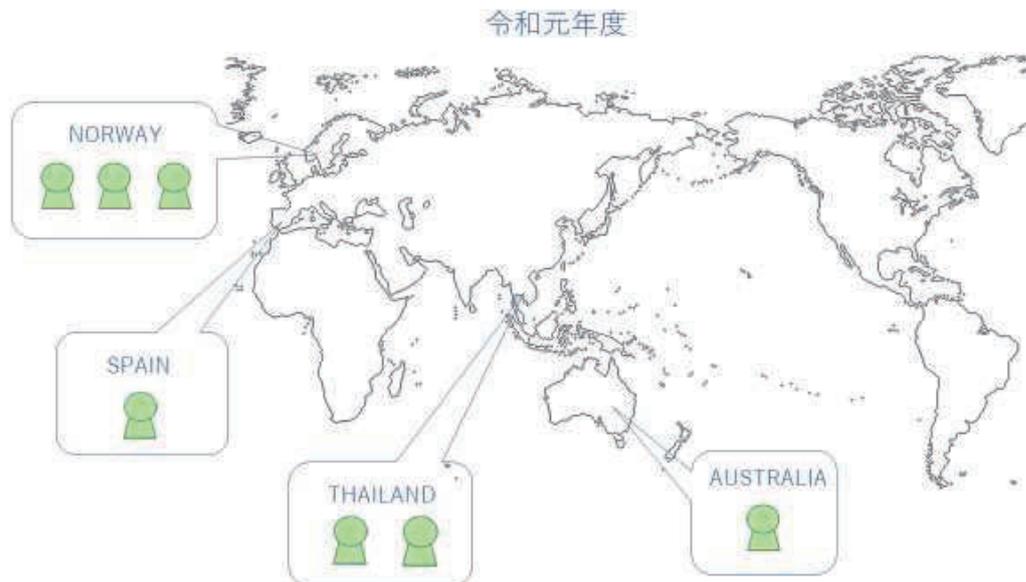


情報工学研究の連携研究者の内訳 (人)			
	連携研究者 (国内)	連携研究者 (海外)	合計
H27	2	0	2
H28	4	0	4
H29	6	8	14
H30	24	7	31
R1	11	1	12

情報工学関連の研究における連携研究者数を示しました。令和元年度は、国内、海外ともに連携研究者数が減少しました。

情報工学関連では、九州大学、慶応義塾大学、Charles Darwin University と連携して研究が行われました。

3) 海外との連携先 分布図



令和元年度の海外の連携研究者を地図に示しました。4か国、7名の研究者と共同研究を行いました。

連携先は以下の通りです。

- Nord University (ノルウェー)
- King Juan Carlos University (スペイン)
- Charles Darwin University (オーストラリア)
- Sports Authority of Thailand (タイ)

4. 利用申請一覧（研究プロジェクト・授業・イベントなど）

No.	使用目的	使用場所	使用人数	使用責任者
1	鹿屋体育大学SP棟を活用した陸上競技中長距離走の走技術の測定法、ならびに評価法を構築することを目的とする研究	陸上走路・人工芝グラウンド	109	松村 勲
2	女子バスケットボール選手の形態計測	陸上走路	34	鈴木 智晴
3	ラジオ体操、および登山体操中の床反力の測定	人工芝グラウンド	12	山本 正嘉
4	MBC南日本放送「週刊1チャンネル」テニス紹介撮影のため	テニスコート	8	広報係
5	トラッキングシステムを用いた計測	人工芝グラウンド	238	鈴木 智晴
6	レジステッド、アシステッドスプリント走に関する研究	陸上走路	60	永原 隆
7	ジュニアサッカー選手のトレーニング時の移動データの取得	人工芝グラウンド	200	甲斐 智大
8	ジュニアサッカー選手の走能力の測定	陸上走路	60	甲斐 智大
9	大学説明会施設見学のため	人工芝グラウンド	161	入試係
10	令和二年度推薦入試及び特別入試実技検査（テニス）のため	テニスコート	15	入試係
11	2019かはやエンジョイスポーツの開催及び準備のため	人工芝グラウンド	316	学生課
12	zxyを用いた走運動時の位置座標データの取得	人工芝グラウンド	23	甲斐 智大
13	スプリント走パフォーマンスのモニタリングに係る実験	陸上走路	57	永原 隆
14	短距離走の測定（卒論）	陸上走路	5	金高 宏文
15	走高跳の測定（修論）	陸上走路	3	金高 宏文
16	自転車競技選手の荷重特性を明らかにする	陸上走路	43	金高 宏文
17	PV助走の測定	陸上走路	9	金高 宏文
18	PV助走測定/スキップ運動の測定	陸上走路	4	金高 宏文
19	円盤投のターンの測定	陸上走路	3	金高 宏文
20	マスターズ競技者の短距離走の測定	陸上走路	16	金高 宏文
21	走高跳の測定	陸上走路	3	金高 宏文
22	短距離走及びスキップ運動の測定	陸上走路	3	金高 宏文
23	短距離走及び補助運動の測定	陸上走路	21	金高 宏文
24	短距離走及び補助運動の測定/PV助走の測定	陸上走路	7	金高 宏文
25	短距離走及び補助運動の測定/円盤投のターン測定	陸上走路・人工芝グラウンド	13	金高 宏文
26	短距離走及び補助運動の測定/スキップ運動の測定/PV助走の測定/円盤投のターン測定	陸上走路・人工芝グラウンド	11	金高 宏文
27	短距離走及び補助運動の測定/跳躍運動の測定/PV助走の測定/円盤投のターン測定	陸上走路・人工芝グラウンド	11	金高 宏文
28	短距離走の測定	陸上走路	51	金高 宏文
29	マスターズ選手の短距離走の測定	陸上走路	5	金高 宏文
30	マスターズ選手の短距離走の測定/跳躍運動の測定	陸上走路	10	金高 宏文
31	授業：専修論・実習（陸上競技）雨天時・荒天時	陸上走路・人工芝グラウンド	208	金高 宏文
32	女性アスリートのスプリント走パフォーマンス決定因子に関する研究	陸上走路・人工芝グラウンド	19	永原 隆
33	グラウンドストロークパフォーマンステストの開発	テニスコート	6	村上 俊祐
34	授業：NIFISA2019国際スポーツアカデミー	陸上走路・人工芝グラウンド	63	前田 明
35	zxyを用いた運動時の位置座標データの取得	人工芝グラウンド	10	高井 洋平
36	測定（サッカー）	人工芝グラウンド	3	青木 竜
37	大学生男子テニス選手の打球データに基づくサービスパフォーマンスの測定および評価	テニスコート	16	村上 俊祐
38	グラウンドストロークパフォーマンステストの開発（バックハンド）	テニスコート	6	村上 俊祐
39	佐賀国体に向けた競技力向上事業に伴うジュニア選手のテニスパフォーマンスの測定	テニスコート	72	村上 俊祐
40	剣道の踏み込み力測定	人工芝グラウンド	71	和田 智仁
41	中学野球選手の体力測定	陸上走路・人工芝グラウンド ・テニスコート・セミナー室	610	鈴木 智晴
42	子供の体力測定	陸上走路・人工芝グラウンド ・テニスコート・セミナー室	74	鈴木 智晴
43	女子プロ野球選手のパフォーマンス測定	陸上走路・人工芝グラウンド ・テニスコート・セミナー室	315	鈴木 智晴
44	授業のための予備データ取得（体育学実験Ⅰ）	人工芝グラウンド	3	村田 宗紀
45	体育学実験Ⅱ	人工芝グラウンド・セミナー室	36	村田 宗紀

No.	使用目的	使用場所	使用人数	使用責任者
46	Flexer製品を用いた野球パフォーマンスの検証	陸上走路・人工芝グラウンド	45	鈴木 智晴
47	鹿児島県立国分高等学校1年生40名が大学見学（SPセンターの見学と講義のため）	人工芝グラウンド	43	入試係
48	オリンピックの測定（野球）	人工芝グラウンド・セミナー室	11	前田 明
49	鹿児島国体テニス競技候補選手の打球測定	テニスコート	11	高橋 仁大
50	小学生ドッジボール選手における体力測定とゲーム分析	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	30	高井 洋平
51	メティンボール投げトレーニングがサービスパフォーマンスに及ぼす影響	テニスコート	275	村上 俊祐
52	大学生・高校生の野球パフォーマンステスト	人工芝グラウンド・テニスコート・セ ミナー室	54	鈴木 智晴
53	打撃パフォーマンステスト	人工芝グラウンド	51	前田 明
54	中学生を対象とした柔道「片手打ち後ろ受身」の実験	人工芝グラウンド	21	濱田 初幸
55	ゼミナールⅡにおけるSPセンターの施設・機器説明	人工芝グラウンド	13	前田 明
56	バイオメカニクス特講（修士）におけるSPセンターの施設・機器説明	人工芝グラウンド	44	前田 明
57	野球投手測定	人工芝グラウンド	196	鈴木 智晴
58	授業：専修論・実習（陸上競技）雨天時・荒天時	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	28	瓜田 吉久
59	① テニスにおけるコーチングに関する研究 ② テニスにおける競技力向上過程に関する研究	テニスコート	28	高橋 仁大
60	スポーツサイエンスキャンプの実施	人工芝グラウンド・セミナー室	29	前田 明
61	パラリンピアン測定（陸上）	陸上走路	7	松尾 彰文
62	オリンピック測定（陸上）	陸上走路	7	松尾 彰文
63	MBC南日本放送との連携事業「週刊1チャンネル」撮影のため	陸上走路	15	広報係
64	フォアハンドストロークにおけるパフォーマンステストの開発	テニスコート	19	村上 俊祐
65	かけっこを科学する	陸上走路	112	金高 宏文
66	レジステッドスプリント走に関する研究（大阪体育大学）	陸上走路・人工芝グラウンド	45	永原 隆
67	大学サッカー選手のフィールドテストの実施	人工芝グラウンド	132	甲斐 智大
68	体育学実験ⅡにおけるSPセンターの施設・機器説明	人工芝グラウンド	45	前田 明
69	歩行動作測定	陸上走路	14	鈴木 智晴
70	大学生男子テニス選手の打球データに基づくサービスパフォーマンスの測定および評価	テニスコート	13	村上 俊祐
71	大学生男子テニス選手のサービスパフォーマンスの測定	テニスコート	28	村上 俊祐
72	高校生サッカー選手のフィールドテストの実施	人工芝グラウンド	38	甲斐 智大
73	テニスのラリー中の打つタイミングに関する研究	テニスコート	9	前田 明
74	産学連携 メディカサトウのフレクサーソックス等の実験	人工芝グラウンド	20	前田 明
75	パワーアップ研修	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	17	前田 明
76	異なる足趾条件でのパフォーマンス（メティンボール投げ・反復横跳び）の変化	人工芝グラウンド	12	前田 明
77	高校野球選手の投球およびランニングパフォーマンステスト	人工芝グラウンド	44	前田 明
78	タイ王国男子バレーボールナショナルチームのパフォーマンステスト	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	56	前田 明
79	異なる条件でのランニングパフォーマンスに関する研究（予備実験）	人工芝グラウンド	4	前田 明
80	授業：体育学実験Ⅰ（バイオメカニクス）	人工芝グラウンド・陸上走路	808	前田 明
81	パラリンピアン測定（柔道）ハイスピードカメラでの投動作撮影	柔道場（学内施設）	3	前田 明
82	パラリンピアン測定（陸上）	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	6	松尾 彰文
83	パラリンピアン測定（陸上）	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	17	松尾 彰文
84	サッカーの1対1の練習時における選手とボールの位置座標の取得（学生の論文作成）	人工芝グラウンド	4	甲斐 智大
85	サッカーの1対1の練習時における選手とボールの位置座標の取得	人工芝グラウンド	45	甲斐 智大
86	オリンピック測定（陸上）	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	6	松尾 彰文
87	ゴールキーパーのポジショニングの測定	人工芝グラウンド	15	甲斐 智大
88	TASSプロジェクト実験（テニス選手における疲労がストロークパフォーマンスに与える影響）	テニスコート	24	村田 宗紀
89	トレセン研究協力校の児童の体力測定	人工芝グラウンド	90	甲斐 智大
90	異なる条件でのスイングパフォーマンス（野球・ゴルフ）に関する研究	人工芝グラウンド	65	前田 明
91	スポーツフェスタinかやの開催及び準備のため（鹿屋市主催事業）	人工芝グラウンド・テニスコート ・セミナー室	800	経営戦略係
92	スポーツ大会（鹿屋市学童保育連絡会）	人工芝グラウンド	125	竹下 俊一

No.	使用目的	使用場所	使用人数	使用責任者
93	オリンピックの測定（陸上）	陸上走路・人工芝グラウンド・セミナー室	9	松尾 彰文
94	異なるスタート姿勢でのスプリントパフォーマンスに関する研究	陸上走路・人工芝グラウンド	13	前田 明
95	画像からの人物追跡に関する共同研究のため	人工芝グラウンド	8	和田 智仁
96	スプリント走のデータベースに関する研究	陸上走路・人工芝グラウンド	10	永原 隆
97	宮崎県高校野球選手のパフォーマンス評価	人工芝グラウンド・セミナー室	126	鈴木 智晴
98	インサイドパスの研究（卒業論文の実験のため）	人工芝グラウンド	126	塩川 勝行
99	野球の打撃中の視線行動および動作キネマティクスを測定し、最適な視線行動を解明する	人工芝グラウンド	6	中本 浩輝
100	コアエナジーベルトの着用が打撃パフォーマンスに及ぼす影響	陸上走路・人工芝グラウンド	50	前田 明
101	大学サッカー選手の位置座標データを用いた戦術分析の研究	人工芝グラウンド	68	甲斐 智大
102	大学サッカー選手の体力測定	人工芝グラウンド	67	甲斐 智大
103	高校野球選手のパフォーマンス評価	人工芝グラウンド・セミナー室	53	鈴木 智晴
104	グレーディングが投球速度と正確性に及ぼす影響	人工芝グラウンド	39	鈴木 智晴
105	授業：バイオメカニクス特講演習 モーションキャプチャーの測定と処理法	人工芝グラウンド	57	前田 明
106	産学連携 異なるスパイクシューズでの投球パフォーマンス	人工芝グラウンド	32	前田 明
107	オリンピックの測定（陸上）	陸上走路・人工芝グラウンド・セミナー室	5	松尾 彰文
108	トラッキングシステムを用いた野球選手の打撃測定	人工芝グラウンド	11	鈴木 智晴
109	セバタクロウのレシーブ動作の動作分析	陸上走路	4	前田 明
110	機材説明会	人工芝グラウンド・データ解析室	30	甲斐 智大
111	誓天祭 大学開放事業 SPセンター開放企画	陸上走路・人工芝グラウンド	26	前田 明
112	こどもの体力測定	人工芝グラウンド	63	甲斐 智大
113	バッティング時のボールデータ計測のための、Mocapカメラ設置位置の検討	陸上走路・人工芝グラウンド	2	本嶋 良恵
114	サッカー選手によるサッカー教室（スポーツ合宿、鹿屋市主催）	人工芝グラウンド	80	甲斐 智大
115	授業：身体科学論特講演習（体力科学）	陸上走路	7	村田 宗紀
116	足趾の可動域がパワー発揮およびアジリティに及ぼす影響	陸上走路・人工芝グラウンド	7	前田 明
117	ゴルフスイングのパフォーマンステスト	人工芝グラウンド	6	前田 明
118	2020鹿児島国体に向けた競技力向上事業に伴う国体候補選手のテニスパフォーマンスの測定	テニスコート	150	村上 俊祐
119	野球打者の予測能力の測定法を開発するための基礎実験を行う	人工芝グラウンド	15	中本 浩輝
120	令和元年度スポーツリフレッシュセミナーにおける講義及び実技指導	人工芝グラウンド・セミナー室	25	高井 洋平
121	コーナー走に関する研究	陸上走路・人工芝グラウンド	51	和田 智仁
122	女子ハードル選手の技術チェックに関する研究	陸上走路・人工芝グラウンド・セミナー室	5	松尾 彰文
123	異なる条件でのスイングパフォーマンス	人工芝グラウンド	3	鈴木 智晴
124	オブジェクトトラッキングシステムを用いた方向転換走のデータ取得	人工芝グラウンド	2	甲斐 智大
125	パラリンピアン測定（陸上）	陸上走路・人工芝グラウンド・セミナー室	4	松尾 彰文
126	異なる条件でのスイングパフォーマンス（ゴルフ）に関する研究	人工芝グラウンド	5	前田 明
127	Pilot study on resisted sprint training with parachute towing	陸上走路	2	Sam Gleadhill
128	打撃パフォーマンス測定	人工芝グラウンド	12	前田 明
129	トラッキングシステムを用いた野球選手測定	人工芝グラウンド	813	鈴木 智晴
130	ハレーボールの動作分析	陸上走路・人工芝グラウンド	55	本嶋 良恵
131	スポーツ合宿～社会人野球選手サポート～	人工芝グラウンド	49	鈴木 智晴
132	トレーニング法の違いによる位置座標データの取得	陸上走路	3	甲斐 智大
133	かごしま国体ジュニアアスリートの測定	人工芝グラウンド	15	前田 明
134	スポーツ合宿まちづくり推進事業（プロサッカー選手のトレーニングキャンプとパフォーマンステスト）	人工芝グラウンド	48	前田 明
135	スポーツ合宿まちづくり推進事業（プロ野球選手のトレーニングキャンプとパフォーマンステスト：ソフトバンクホークス）	人工芝グラウンド	47	前田 明
136	スポーツ合宿まちづくり推進事業（プロ野球選手のトレーニングキャンプとパフォーマンステスト：ロッテ 楽天）	人工芝グラウンド	58	前田 明
137	中高齢者に対するノルディックウォーキングの介入効果	人工芝グラウンド	22	藤田 英二
138	（台湾）南山高中女子バスケットボール部 施設見学とZXY体験のため	人工芝グラウンド	18	前田 明
139	索引走の測定のため	人工芝グラウンド	18	瓜田 吉久

No	使用目的	使用場所	使用人数	使用責任者
140	Rapsodo等の精度検証	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	29	本嶋 良恵
141	Resisted sprint training research with parachute towing	陸上走路	48	Sam Gleadhill
142	大隅地区野球を語る会	人工芝グラウンド	90	鈴木 智晴
143	打者測定	人工芝グラウンド	4	鈴木 智晴
144	野球打者の打撃運動中の視線行動を測定するため	人工芝グラウンド	36	中本 浩輝
145	テニスラケット装着型センサーの測定精度に関する研究	テニスコート	69	高橋 仁大
146	投球動作の3次元動作分析	人工芝グラウンド	23	前田 明
147	計測練習	陸上走路・人工芝グラウンド	4	本嶋 良恵
148	バッティングパフォーマンスの評価に関する研究	陸上走路・人工芝グラウンド	33	本嶋 良恵
149	スポーツパフォーマンス研究センター 協力者会議	人工芝グラウンド・セミナー室	38	前田 明
150	サッカーにおける移動データの取得	人工芝グラウンド	6	高井 洋平
151	女子サッカー選手の体力測定	人工芝グラウンド	43	甲斐 智大
152	機材説明会	人工芝グラウンド・データ解析室	48	村田 宗紀
153	鴻江理論実証実験	人工芝グラウンド	9	鈴木 智晴
154	パラリンピアン測定（陸上）	陸上走路・人工芝グラウンド ・セミナー室	7	松尾 彰文
155	モーションキャプチャーを用いた3次元動作分析（予備実験）	陸上走路	3	前田 明
156	柔道の投げ動作測定に関する予備実験	人工芝グラウンド	3	前田 明
157	柔道の投げ動作測定に関する予備実験	人工芝グラウンド	2	鈴木 智晴
158	ランニングシューズが疾走に与える影響に関する研究の実験	陸上走路・人工芝グラウンド	12	永原 隆

5. 学会・研究会・SPERC の開催

1) 鹿屋体育大学での学会・研究会への協力（施設紹介等）

日本コーチング学会 令和元年度3月17日（火）～18日（水）

日本コーチング学会

（兼）日本体育学会体育方法専門領域研究会第13回大会・WEB 研究発表大会

令和元年度3月23日（月）12：00～31日（火）24：00

2) SPERC の開催とその協力

スポーツパフォーマンス研究の推進に協力するため、スポーツパフォーマンス研究カンファレンスとして、毎週、研究会を開催しています。スポーツパフォーマンス研究センターは、SPERC の開催案内や研究会当日の映像管理などを行っています。

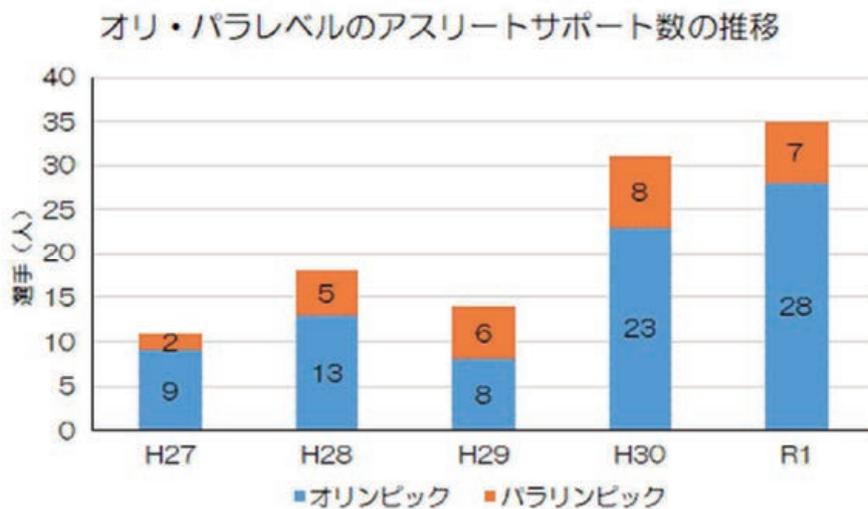
SPERC での議論をもとに、スポーツパフォーマンス研究論文が多く作成されるようになりました。

以降にこれまでの SPERC の開催状況を示します。

<SPERC の開催>

		開催日	発表タイトル	発表者
1	第180回	2019/4/11	実践研究論文の書き方	山本正嘉 高橋仁大 金高宏文
2	第181回	2019/4/18	運動意識の発生分析から得られる実践知の活用に関する研究	田川浩子
3	第182回	2019/4/25	スポーツ用自転車におけるペダリング技能の可視化（その2）：ペダリングの安定性を可視化する	山口大貴
4	第183回	2019/5/9	シャッターゴーグルを用いた速球を見るトレーニングが野球のバントパフォーマンスに及ぼす影響～トレーニングの失敗事例を含んだ内容をどのようにまとめるか～	前田明
5	第184回	2019/5/16	登山を安全かつ健康的に実施するための運動処方と指導法に関する研究	管子悠歩
6	第185回	2019/5/23	1. NCAAの組織及び実態について-留学経験から 2. バスケットボールにおけるウォールアップに関する研究	野村慧介
7	第186回	2019/5/30	スポーツ指導者コンピテンシーテスト（SCCOT）によるコーチング行動・判断力の評価とその発達順序の検討	近藤亮介
8	第187回	2019/6/6	外部コーチとして女子中学生走高跳競技者の踏切動作指導から得た実践知とその検証（スポーツパフォーマンス研究初学者的取組：スポーツ実践を基にした経験知の論述とその客観的な検証）	田中勇悟
9	第188回	2019/6/13	ソフトテニスにおけるレシーバーの視覚探索と打球コースの予測に関する研究	松江拓
10	第189回	2019/6/20	テニスのグラウンドストローク評価テストの作成（仮）	岩永信哉
11	第190回	2019/7/11	テニスにおけるサービスのパフォーマンス向上に向けた取り組みとその効果	高橋仁大
12	第191回	2019/7/18	岐阜県でのアスリート科学サポートの事例	本嶋良恵
13	第192回	2019/7/25	スポーツ用自転車におけるペダリング技法の可視化と技能を改善するための指導方法に関する研究	山口大貴
14	第193回	2019/8/1	登山を安全かつ健康的に実施するための運動処方と指導法に関する研究	管子悠歩
15	第194回	2019/10/3	事例研究の知見を活用した事例研究	金高宏文
16	第195回	2019/10/10	ブラインドスプリンターに関する事例研究	永原隆
17	第196回	2019/10/17	シュートの軌道を観るトレーニングが3Pシュート成功率に及ぼす影響～スマートフォンを用いたトレーニングのアイディア～	前田明
18	第197回	2019/10/24	スピードスケート選手が体力・身体組成を改善した1ヶ月間の取り組み事例	山口大貴
19	第198回	2019/11/7	主体的に行動できる大学スポーツ選手を育成するための評価法と指導法に関する研究～バスケットボール選手を対象として～	小原侑己
20	第199回	2019/11/14	テニスのゲームにおいてラリー数の違いがサービスに及ぼす影響	柏木涼吾
21	第200回	2019/11/28	セーリング競技におけるレーザーラジアル級国内トップ選手の風速別速度カーブ	榮楽洋光
22	第201回	2019/12/5	創作プロセスに着目した指導教材「舞蹈創作デザインシート」の開発	小島亜希子
23	第202回	2019/12/12	JSPO「コーチデベロッパ-養成講習会」に参加して	村上俊祐
24	第203回	2019/12/19	速度ベクトルを用いたサッカー選手の試合中における方向転換の定量	甲斐智大
25	第204回	2020/1/9	（仮）Functional movement Screenに基づいたトレーナー介入が体育系女子大学生のセルフコンディショニングにあたる影響	森実由樹
26	第205回	2020/1/16	ICTを活用したサッカー選手の基礎体力トレーニングの指導事例～持久力・筋力・切り返し能力の向上を目的とした段階的な取り組み～	小原侑己
27	第206回	2020/1/23	スプリント走における補助運動とモデルストライドを活用した技術練習の有効性：博士論文（論文博士）の作成の方向性	金高宏文
28	第207回	2020/1/30	スポーツパフォーマンス研究にふさわしい論文とは：editorial2020に向けて	高橋仁大

6. オリンピック・パラリンピックレベルのアスリートサポート数



オリ・パラレベルのアスリートサポート数(人)			
	オリンピック	パラリンピック	全体
H27	9	2	11
H28	13	5	18
H29	8	6	14
H30	23	8	31
R1	28	7	35

アスリート数のはのべ数

本学の中期目標・中期計画において、令和2年度までにオリンピック・パラリンピックレベルのアスリート14人のサポートを目標としています。令和元年度はオリンピック・パラリンピアン8選手を含む30選手に対してサポートを行いました。全体サポート数は35回であり、複数回測定を実施した選手もいました。